

JIMCA第1回勉強会

国際メディカル・コーディネート事業のあり方

開催日時：2021年6月17日（木）13時～15時

開催方法：オンライン（ZOOM）

プログラム：基調講演1 経済産業省ヘルスケア産業課
基調講演2 国土交通省 観光庁 観光資源課
パネルディスカッション

資料

JIMCA第1回勉強会 基調講演 1 資料

～医療インバウンドの方向性～

経済産業省 商務サービス グループヘルスケア産業課

令和3年6月17日

医療事業インバウンドの方向性



JIMCA第1回勉強会 講演資料

～医療インバウンドの方向性～

令和3年6月

経済産業省 商務・サービスグループ
ヘルスケア産業課

医療事業インバウンドの方向性

1. 医療インバウンドに関するマクロ的な背景 と経済産業省の取り組み紹介

医療事業インバウンドの方向性

世界における医療渡航市場の現況（1）

The image shows two overlapping browser windows. The left window displays a report from Grandview Research titled "Medical Tourism Market Size, Share & Trends Analysis Report By Country (Thailand, India, Costa Rica, Mexico, Malaysia, Singapore, Brazil, Colombia, Turkey, Taiwan, Korea, Spain, Czech Republic), And Segment Forecasts, 2020 - 2027". It includes a "Report Overview" section and a bar chart titled "Medical tourism market size, by country, 2016 - 2027 (USD Billion)". The right window displays a report from Market Data Forecast titled "Global Medical Tourism Market Size, Share, Trends, Growth & COVID-19 Analysis Report - Segmented By Treatment Type and Region - Industry Forecast (2021 to 2026)".

Medical tourism market size, by country, 2016 - 2027 (USD Billion)

Year	Market Size (USD Billion)
2016	24.3
2017	30.0
2018	
2019	
2020	
2021	
2022	
2023	
2024	
2025	
2026	
2027	

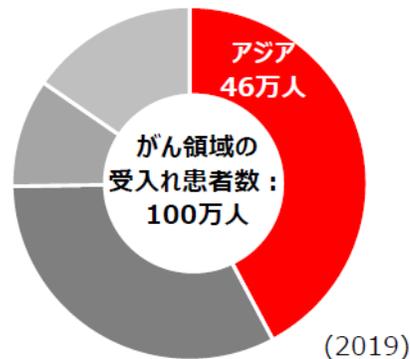
Legend: Thailand, India, Costa Rica, Mexico, Malaysia, Singapore, Brazil, Colombia, Turkey, Taiwan, South Korea, Czech Republic, Spain.

To learn more about this report, [request a free sample copy](#)

医療事業インバウンドの方向性

世界における医療渡航市場の現況（2）

「がん×アジアの受入れ人数」は年間46万人規模



- 全疾患での渡航者数は約2,000万人
- がん領域の渡航者数は約100万人
- がん領域のアジア受入れ数は約46万人

日本の受入れ人数は、総数ないしはアジア受入れ数に比して限定的であることが伺える

「アジア主要国の医療観光受入れ数の推移」



出所：「Global Medical Tourism Market」（左図）、地方創生サイト「令和元年10月18日医療ツーリズムの推進のための医療滞在ビザ発給迅速化等について」（https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc_wg/h31_r1/shouchou/20191018_shiryou_s_1_3.pdf）（右図）を基に日本総研作成。

医療事業インバウンドの方向性

アジア各国と日本の医療水準比較

- アジア各国は医師/看護師数や病床数が少なく、医療提供体制が不十分な国が多い

		日本	先進国		アジア各国								
			OECD 平均*										
				US	China	Singapore	Malaysia	Thailand	Indonesia	Philippine	Vietnam	Cambodia	Myanmar
医療水準	人口千人 当たり医師数 ('18)	2.4	3.5	2.8	2.1	2.4	2.0	0.5	0.4	1.2	0.8	0.1 (('14))	0.9 (('17))
	人口千人 当たり看護師数 ('18)	8.9	8.6	9.0	2.9	5.9	3.3	2.6	1.2	8.3	1.3	1.0 (('14))	1.0 (('17))
	人口千人 当たり病床数 ('18)	12.2	4.7	2.7	6.0	2.5	2.0	2.3	1.2	1.1	3.0	0.8 (('15))	0.9 (('12))
	平均寿命 ('16, yrs)	84.2	80.6	78.5	76.4	82.9	75.3	75.5	69.3	69.3	76.3	69.4	66.8
医療費	対GDP比 医療費 ('16, %)	10.9%	12.4	16.7	5.3	4.3	4.0	3.8	3.4	4.4	5.7	6.0	5.0
	一人当たり 医療費成長率 (CAGR '10-'16 (%))	2.2%	1.8	3.7	13.4	8.6	3.6	4.3	3.2	5.9	7.8	6.1	26.3
	総 医療費成長率 (CAGR '10-'16 (%))	2.0%	2.5	4.4	13.9	10.4	5.4	4.8	4.5	7.6	9.0	7.9	27.4

※医師数・看護師数・病床数のOECD平均は、アイスランド・ルクセンブルクを除く

※一人当たり医療費成長率・総医療費成長率では、日本のみ厚労省のデータを用い計算しているため、他国の定義と一部異なる可能性がある

出所: BMI Research「Worldwide Medical Devices Market Factbook 2019」, WHO「Global Health Observatory data」, World Bank「World Development Indicators」, OECD Stat、厚生労働省「医療費の動向調査」

医療事業インバウンドの方向性

医療滞在ビザの発給件数（2020年）

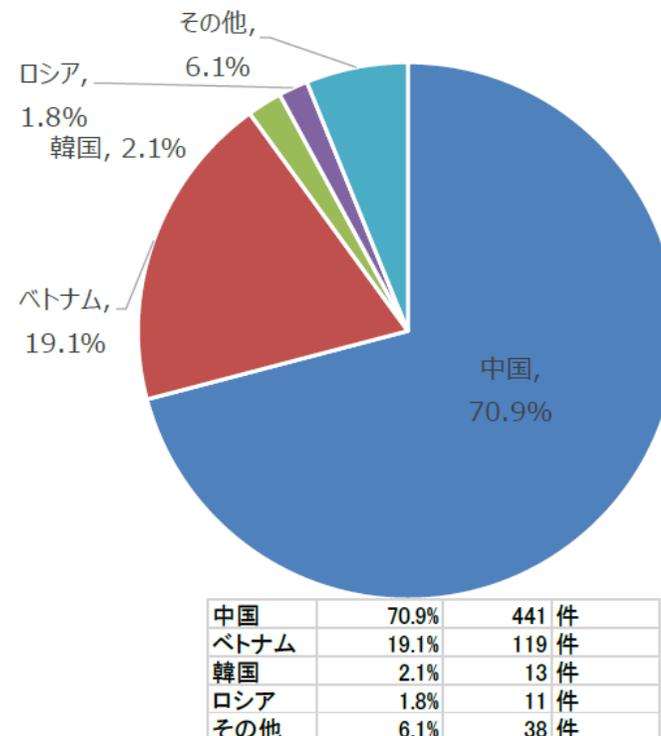
- 医療滞在ビザの発給件数は年々増加していたが、コロナ渦で急ストップ。
- ビザ発給の7割が中国。次いでベトナムの順。
- 近年ベトナムからの割合が急増中（2017年4.4%⇒9.2%⇒20.1%⇒19.1%）。

医療滞在ビザ発給件数（令和2年）



出所：外務省「ビザ発給統計」（令和3年5月31日公表）

国別の割合（令和2年）



医療事業インバウンドの方向性

「ジャパン インターナショナル ホスピタルズ」(2021年3月30日現在)

- 
- 1 北斗病院
2 総合南東北病院
3 筑波大学附属病院
4 千葉大学医学部附属病院
5 亀田メディカルセンター
6 国立がん研究センター東病院
7 日本医科大学千葉北総病院
8 国立国際医療研究センター病院
9 国際医療福祉大学三田病院
10 順天堂大学医学部附属順天堂医院
11 慶應義塾大学病院
12 国立がん研究センター中央病院
13 NTT東日本関東病院
14 榊原記念病院
15 山王病院
16 聖路加国際病院
17 国立成育医療研究センター病院
18 東京大学医学部附属病院
19 東京都済生会中央病院
20 東京高輪病院
21 虎の門病院
22 相澤病院
23 総合病院聖隷浜松病院
24 藤田医科大学病院
25 大阪大学医学部附属病院
26 兵庫県粒子線医療センター
27 福岡記念病院
28 福岡山王病院
29 福岡県済生会福岡総合病院
30 長崎大学病院
31 米盛病院
32 山形大学医学部附属病院
33 AOI国際病院
34 津山中央病院
35 岡山旭東病院
36 福山医療センター
37 古賀病院21
38 新古賀病院
39 埼玉医科大学国際医療センター
40 済生会横浜市東部病院
41 木沢記念病院
42 金沢医科大学病院
43 吹田徳洲会病院
44 東邦大学医療センター大森病院
45 吉田病院
46 旭川医科大学病院
47 名古屋共立病院
48 日本生命病院
49 大阪国際がんセンター
50 広島大学病院
51 神戸大学医学部附属病院
52 神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター

 **JAPAN Hospital Search**
for International Patients
<http://www.japanhospitalsearch.org/>



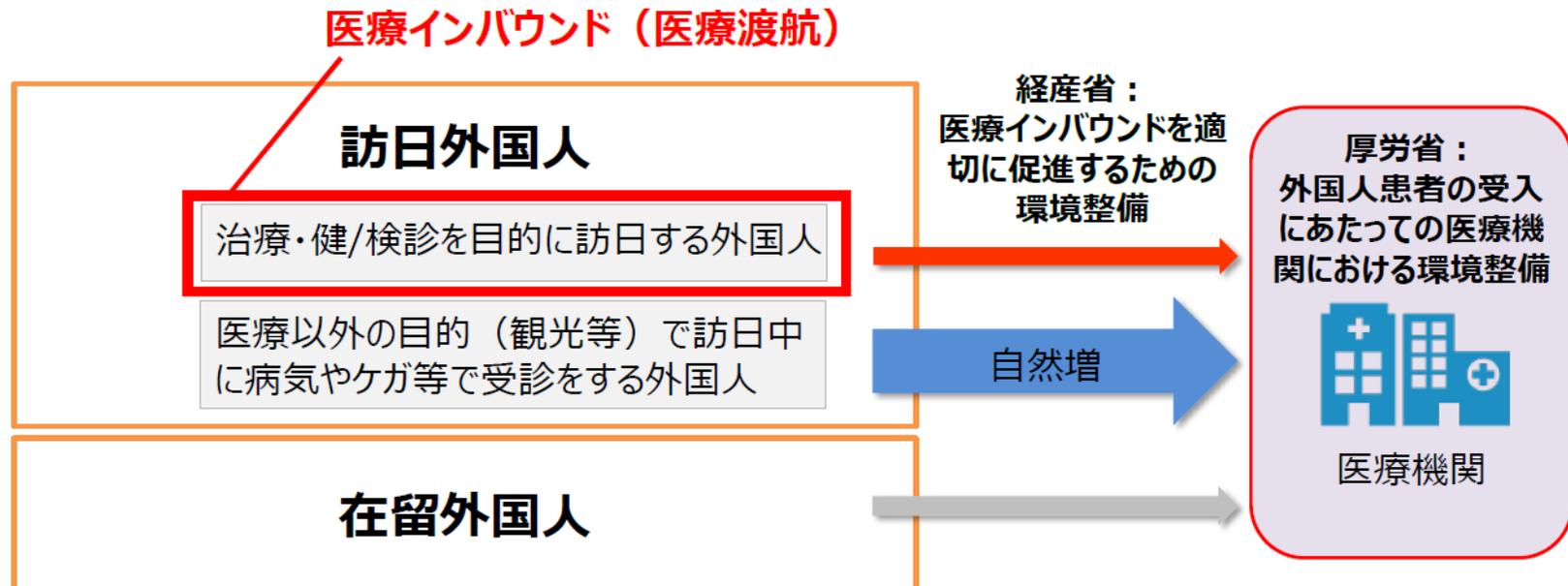
©2020 Medical Excellence JAPAN

医療事業インバウンドの方向性

医療インバウンドについて

- 医療インバウンド（医療渡航）とは、日本の医療機関による外国人患者の受け入れの中でも、日本の医療機関での受診を目的に渡航する外国人患者を受け入れることをいう。
- 医療渡航者に日本の高度な医療を提供することは、国際貢献につながるとともに、日本の医療機関にとっても医療資源の稼働率を向上させる。また、医療渡航者による日本の医療の体験は、海外に日本の医療を展開するアウトバウンドの取組にも資する。
- その結果、我が国の患者に、将来にわたり高度な医療サービスを提供することに資する。

医療機関における外国人患者受け入れの概念と関係省庁整理



医療事業インバウンドの方向性

令和2年度 経済産業省委託 国際ヘルスケア拠点構築促進事業（医療国際展開推進事業） 医療渡航についての認知度向上に向けたプロモーションの実施

- COVID-19対策の渡航制限の影響により、海外展示会への出展から、WEBイベント開催に切替え、日本の医療の認知度向上に向けたプロモーションを実施。
- 「がんの診断・治療方法」や「医療渡航に関する日本側受入れ体制の周知」をテーマとし、相手国医療機関と日本の医療機関からの講演と、日本の渡航支援企業や現地のコーディネーターから渡航サービスの紹介を実施。
- 日本の医療の強み調査を参考に配信用動画コンテンツの制作と、SNS（WeChat・Facebook）での情報発信をWEBイベント開催と合わせ、広報を効果的に実施。

China – Japan Online Event on Medical Travel (2020年12月18日、23日)

- 渡航支援企業と医療機関を参加対象者とし、2日間で計621アカウントの視聴があった
- 中国からは、中国非公立医療機構協会、中日友好病院からご講演いただき、日本からは作成した動画コンテンツと日本への医療渡航の流れを説明した。

【プレゼン参加日本企業（発表順）】

(株) JTB、(株) コノミティ、日々向上国際(株)、
(株) スーパーナース、野口医学研究所、IMC(株)、
(株) AYAホールディングス、メディネットインターネット(株)



日本の医療の強み動画コンテンツ作成

- WEBイベントのテーマに合わせ、日本の医療の強み調査のガイダンスにある内容から「がんの早期発見・早期診断」、「粒子線治療～重粒子線/陽子線治療～」を順天堂大学医学部附属順天堂医院、津山中央病院に協力を得て、作成した。
- COVID-19の影響から日本への医療渡航を安心して選択してもらえるように、「日本における感染症対策について（ホテル・病院編）」も作成した。



- 3本の動画はいずれも中国語、ベトナム語で作成し、YouTubeでも公開している。
- SNS（WeChat、Facebook）を活用し、WEBイベント開催と合わせ、情報発信した。



Vietnam – Japan Online Event on Medical Travel (2021年1月27日、28日)

- 医療機関と新興渡航支援企業を参加対象者とし、2日間で計371アカウントの視聴があった
- ベトナムからは、保健省、駐日大使館から来賓挨拶、バックマイ病院、チョーライ病院からご講演 いただいた。日本からは作成した動画コンテンツと日本への医療渡航の流れを説明した。

【プレゼン参加日本企業（発表順）】

(株) コノミティ、グランソール、(株) ワップ



医療事業インバウンドの方向性

令和2年度 経済産業省委託 国際ヘルスケア拠点構築促進事業（医療国際展開推進事業）

日本の医療の強みの海外患者向けの情報素材提供

- 日本は**癌治療**で高い治療成績を誇り、**再生医療などの先進医療**も提供。しかし、海外において医療渡航先としての**日本の知名度は低く**、海外の患者の多くは欧米の他、韓国や、タイ、マレーシアなど、渡航医療先として知名度が高い他の国々へ渡航しているのが現状。
- 日本の医療の強みを可視化し、**知名度を向上させ、集患に繋げることが重要**。



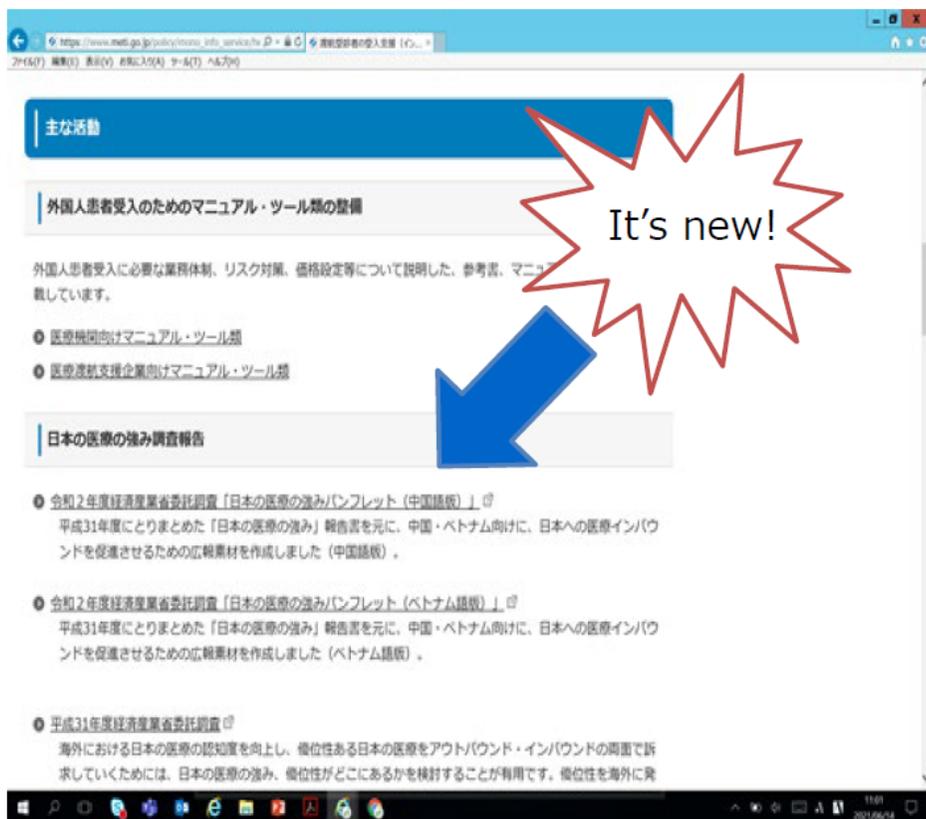
（資料）令和2年度国際ヘルスケア拠点構築促進事業（医療国際展開推進事業）委託事業報告書

医療事業インバウンドの方向性

令和2年度 経済産業省委託 国際ヘルスケア拠点構築促進事業（医療国際展開推進事業）

日本の医療の強みの海外患者向けの情報素材提供

- 経済産業省のホームページからダウンロード可能です！



【調査内容評価委員会委員】

施設・団体名	役職名	氏名
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター	理事長	國土 典宏 様 (座長)
一般社団法人 日本病院会	会長	相澤 孝夫 様
公益社団法人 日本医師会	副会長	今村 聡 様
学校法人 慶應義塾 慶應義塾大学病院	病院長	北川 雄光 様
国立大学法人 東京大学 東京大学医学部附属病院	病院長	瀬戸 泰之 様
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構	理事長	藤原 康弘 様
学校法人 藤田学園 藤田医科大学病院	理事長	星長 清隆 様
日本医学会	会長	門田 守人 様
国立大学病院長会議	会長	山本 修一 様

医療事業インバウンドの方向性

2. 現状の課題と今後の方向性

医療事業インバウンドの方向性



毎回こう言って喜んでもらえるといいですね。
患者からも医療機関からも信頼され、頼りがいのある医療コーディネーターへ！！

医療事業インバウンドの方向性

日本への医療渡航のブランド化に向けて

～患者からも医療機関からも信頼される、頼りがいのある医療コーディネーターへ～

そのためには・・・

1. 外国人患者から

①自社（渡航支援事業者）を選んでもらい、**【きめ細やかな対応、患者の不安解消】**

②適切な渡航先を選んでもらうこと、が大事。**【適切な情報発信】**

そして場合によっては魅力的なプランの提供。（健診などの場合は、周辺観光や日本食などの体験も、顧客の目当てのひとつ）

2. 受入医療機関からも

③医療行為に集中できた。他の日本人受診者にも迷惑がかかっていない。この渡航支援事業者からの紹介なら、次回も安心して受け入れられる！と思ってもらえることが大切。**【院内の事情にも詳しく、積極的にフォローできる知見とノウハウ】**

患者が渡航されたら、④帰国後のフォロー含め医療従事者と相談し、帰国後も満足して頂くことが大切。

今後、より促進するには・・・

➤ 日本の医療渡航のブランド化が必要。

（日本の医療の強みは、治療レベルだけでなく医療従事者の誠実さ、患者中心の丁寧なケア。）

患者さんにとっては、皆さんも含まれます！

⇒一緒に、日本の医療のブランド化を実現し、より多くの方に医療渡航いたただく環境を作りませんか？

JIMCA第1回勉強会 基調講演2 資料

～観光地域づくりに対する支援～

国土交通省観光庁 観光資源課

令和3年6月17日

観光地域づくりに対する支援

継続

ソフト事業

○地域の医療の充実を通じた外国人受入れ推進のための
体制構築支援事業

令和3年度予算案額：
2,225百万円の内数

概要

今後のインバウンド需要の回復に向けて、地域の意見をくみ取りながら、医療機関等を含めた訪日外国人の受入体制が整った地域づくりや、訪日外国人を呼び込むための新たな健康増進プランの造成・改良など、医療と観光が連携した地域の取組を支援する。

事業イメージ

目指す姿

- 医療機関等を含めた、訪日外国人の受入体制が整った地域づくり
- 健康増進滞在プランの造成・改良（長期滞在プランを含む。）

例：医療体制の整った観光ブランドの造成
（スポーツ、温泉など）



- 怪我等をした観光客の医療機関での対応
- 院内表示の多言語化

例：温泉を利用したリハビリ治療等＋観光



- 水中運動（理学療法士による指導）
- 温泉のリラックス、癒しの効果

観光地域づくりに対する支援

事業スキーム



観光、宿泊業者

訪日外国人が安心して旅行できるように、医療機関の協力を得たい。また、医療資源を活用した滞在プランを作りたい。



医療機関等

観光・宿泊地の感染対策や、より安心な滞在プラン作りに協力したい。また、増加する外国人患者の受入のための下地を作りたい。



地方公共団体

訪日外国人に安心して来訪可能な体制を構築することで、地域の観光ブランドの造成と税収増加、住民への還元を実現したい。しかし、地域医療との調和も図りたい。

三者一体となり、安全・安心の観光を提供する事業計画

地域の連携・プラン造成等の取組の計画を提出。

厚生労働省

事務局

【役割】

- 地域の取組の伴走支援及び進捗と資金管理
- 事業全体の進捗管理及び効果測定
- 安心・安全な観光エリアの事例として横展開できるように、事例集等の作成
- 滞在プラン実施に沿った必要な体制整備

地域採択
支援内容決定

事業支援
進捗管理

観光地域づくりに対する支援

対象者

訪日外国人の増加及び消費額の増加を目指す取組を行う医療機関、観光事業者、地方公共団体等が形成するコンソーシアム

対象事業

①地域連携 ②外国人受入れ体制の構築
③滞在プランの造成 ④海外連携や販路確保

注：①～④の取組以外にも、対象とする地域のニーズや提案、現状に合わせて適切な支援を実施。

支援内容

- 対象事業の①から④におけるコーチング
- コーチングを受けながら行う地域の取組及びその実証（支援は上限800万円を想定。）

観光地域づくりに対する支援

昨年度からの変更のポイント

令和2年度は地域の受入体制の構築、滞在プランの造成、海外連携や販路確保など、一連の流れをパッケージとして支援を実施。しかし、地域のニーズや成熟度及び目指す姿により、地域が取り組む内容が異なるため、令和3年度は地域の提案をもとに、地域に合わせた支援を行う。

また、令和2年度は医療渡航を軸とした滞在プランを造成する地域を対象としていたが、令和3年度は医療渡航を軸とした滞在プラン造成を応募の条件とはせず、地域内での医療の充実や観光・医療の連携等を行い、訪日外国人数の増加や旅行消費額の増加を目論む地域を対象とする。

支援手続スケジュール（予定）

- 6月中旬～7月中旬 : 支援地域の募集
- 7月下旬 : 支援地域決定
- 8月以降 : 支援開始

【連絡先】

国土交通省	観光庁	観光資源課	TEL 03-5253-8924
厚生労働省	医政局	総務課	TEL 03-3595-2317

JIMCA第1回勉強会 パネルディスカッション資料

～医療機関・事業者連携サポートについて～
一般社団法人国際メディカル・コーディネーター事業者協会

令和3年6月17日



医療機関・事業者連携サポートについて

令和3年6月17日

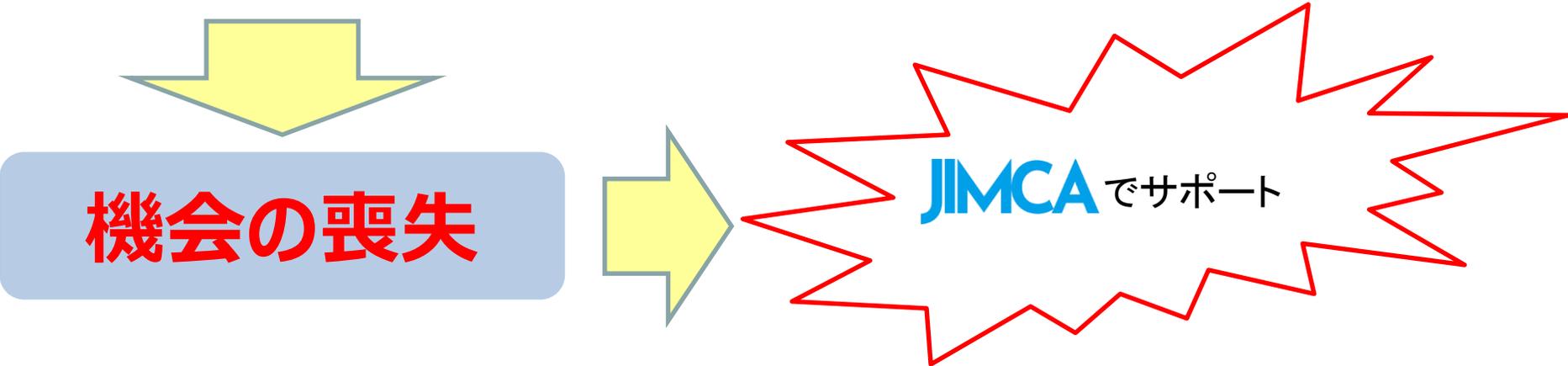
一般社団法人国際メディカル・コーディネーター事業者協会

International Medical Coordinator Companies Association
(JIMCA)

こんな経験はありませんか？

渡航受診者の受入れの際…

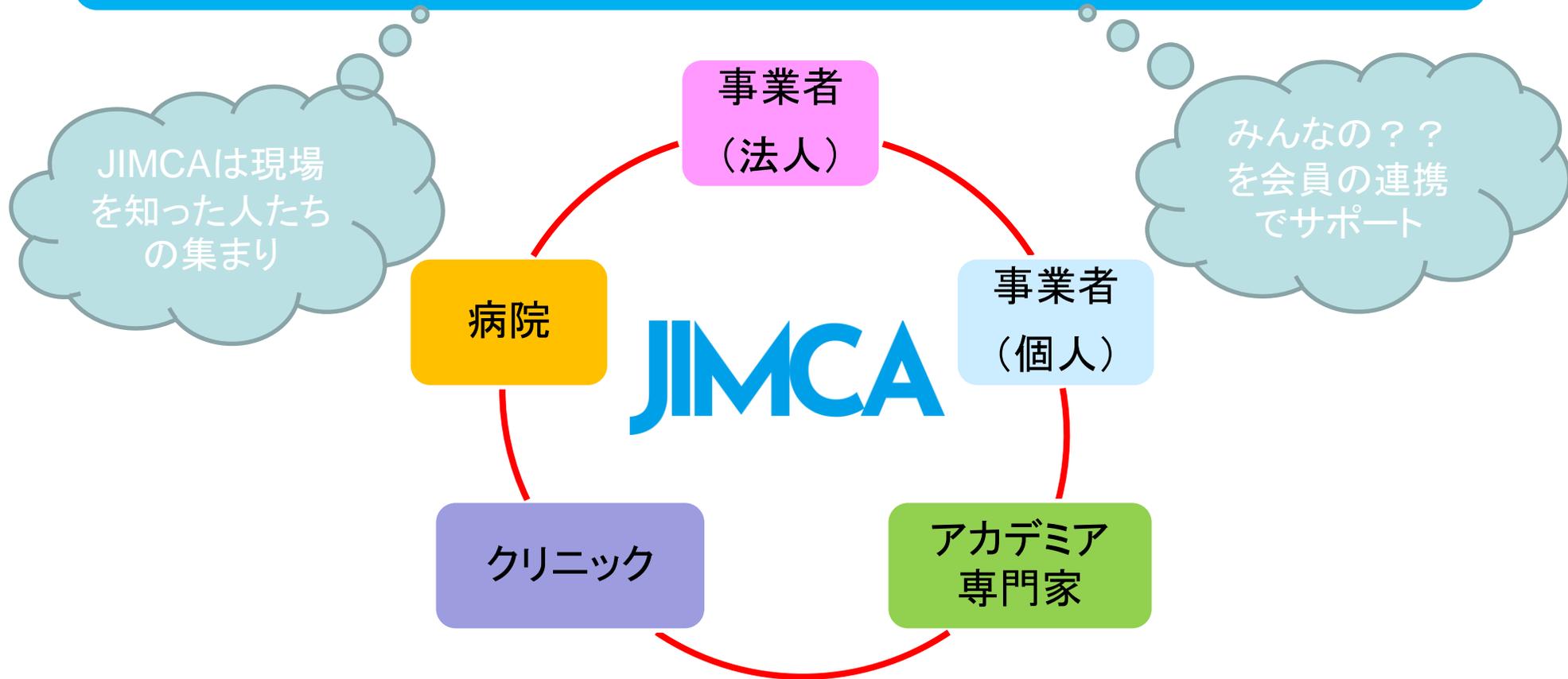
- 特定の疾病で、どこの病院に問い合わせをして良いか分からない…
- 医療機関の指名が有るが、アクセスできない、どうすれば…
- いつもの医療機関が今回は受けてくれない…
- 問合せが多く、自社だけでは対応できない…
- 団体に健康診断・人間ドックの受注が有るがどうすれば…
- 身元保証機関の保証書が必要だがどうすれば良いのか…



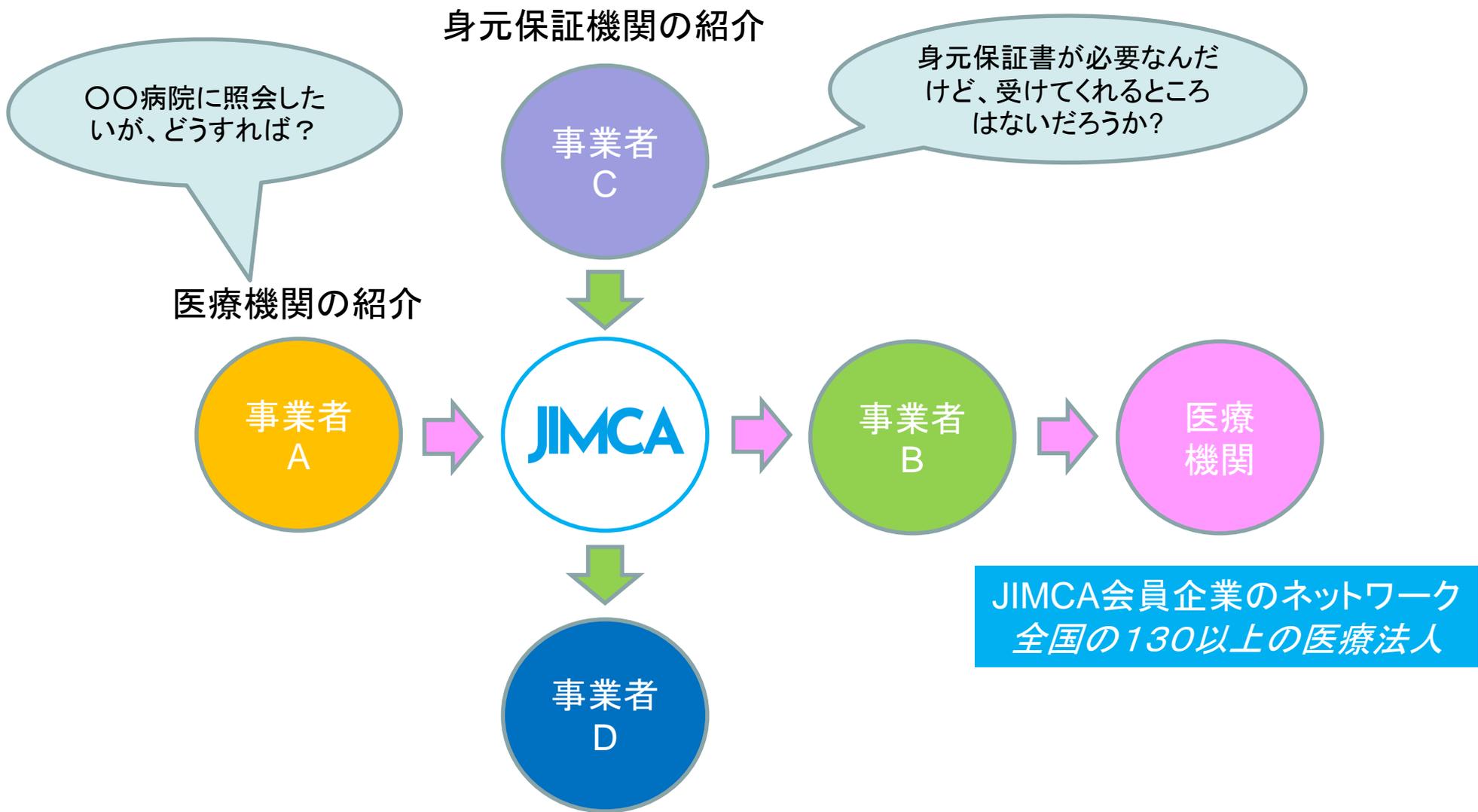
機会の喪失

JIMCA でサポート

JIMCAは、経験豊富な関係者が集う場所



医療機関・事業者連携サポート・例



興味のある方からの連絡をお待ちしております！

◆ 連絡先

一般社団法人 国際メディカル・コーディネーター事業者協会
医療機関・事業者連携サポート準備グループ

〒105-0003 東京都港区西新橋1-14-7

電話 03-6670-2305 メール info@jimcajp.or.jp